



## 平成26年 第4回定例会

# 平成26年度9月補正予算 40億7002万9千円を 原案可決

平成26年第4回定例会を、9月11日から23日にわたり開催し、10月3日に閉会しました。9月11日には、市長から予算案等の提案理由の説明がなされ、18・19日には、4人の議員が代表質問を、22・24・25日には16人の議員が一般質問を、また、10月3日には追加提出された議案について3人の議員が代表質疑を行い、提出された議案及び市政全般にわたり活発な議論を行いました。

3日には追加議案審査のための文教消防委員会を開催し、本会議で付託された議案や請願などについて、審査を行いました。その結果、議案17件のうち、14件が原案可決あるいは同意、1件を修正可決し、2件は否決の議決結果となりました。また、認定2件は継続審査、意見書案1件は原案可決されました。さらに請願6件については、不採択1件、継続審査5件の議決結果になりました。なお、詳しい内容については「議案等議員別表決結果一覧表」(6・7面)に掲載しています。

## 議会開会前ミニイベントを開催しました



平成26年9月定例会初日の9月11日(木)、多くの方に気軽に議場へ足を運んでいただくことを目的に、津軽三味線演奏家 堀尾泰磨さんをお招きし、本会議開会前の議場にて演奏を楽しむミニイベントを開催しました。



津軽三味線演奏家 堀尾泰磨さんによる演奏



60名近い方にご来場いただき、傍聴席はほぼ満席となりました

## 可決された主な議案

### 予算

本会議の審議を経て原案可決された平成26年度9月補正予算の主な事業は次のとおりです。

#### 災害用物資資機材整備事業

地震等の大規模災害発生時に、地域の主要な避難所において使用する投光器や簡易トイレの資機材整備を行います。

#### 中学校吊り天井脱落対策事業

学校施設の安全性を確保するため、柔剣道場等に設置されている非構造部材である吊り天井の脱落防止対策を行います。

#### 事業所内保育施設整備促進事業

企業等における事業所内保育施設の設置を促進するため、愛媛労働局から設置費・運営費について助成を受ける事業者を対象に補助を行います。

#### 水痘予防接種事業

水痘が予防接種法に基づく定期の予防接種の対象として追加されたことに伴い、水痘の発生及びまん延の予防を図るため、水痘ワクチンの接種を実施します。

#### 街路・幹線道路整備事業

交通渋滞を緩和するとともに歩行者・自転車の通行の安全性を確保するため、中之川通線の整備を行います。

#### キウイフルーツかいよう病Psa3系統の感染を防止するため、必要な施設等の整備に対し、県・市それぞれから補助を行います。

### 意見書

#### ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

肝硬変・肝がん患者への医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度の創設、及び身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすることを、国に強く要望する。

## 討

## 論

議案第98号平成26年度松山市一般会計補正予算(第2号)中、道後保育園運営委託及び中須賀保育園運営委託に反対  
杉村 千栄議員(日本共産党議員団)

議案第98号平成26年度松山市一般会計補正予算(第2号)中、長期的水需給計画検証事業の修正案に賛成  
梶原 時義議員(ネットワーク市民の窓)

議案第98号平成26年度松山市一般会計補正予算(第2号)中、長期的水需給計画検証事業の修正案に反対  
猪野由紀久議員(フォーラム松山)

議案第110号及び111号に反対  
向田 将央議員(自由民主党議員団)  
吉富 健一議員(公明党議員団)  
小崎 愛子議員(日本共産党議員団)

# 代表質問



土井田 学 議員  
(自由民主党議員団)

## 未確認の署名簿を理由に臨時会を招集した事実をどう考えているか

**問** 平成22年3月、県営黒瀬ダムからの松山分水水推進を求め、「第3の水源地の確保を求める市民の会」から約32万人分とされる署名簿が本市へ提出された。しかし、この署名の内容は確認されおらず、曖昧な情報を理由に、多額の税金を使って22年7月臨時会を招集した事実について、市長としてどう考えているか。



同臨時会は、6月定例会最終日に設置された水資源対策特別委員会での早急な議論を必要としていたこと、西条市との協議に新しい有益な提案が求められていたこと、約32万人の署名簿が提出されたことを理由に招集した。こうした署名簿の確認に法的な義務はなく、署名数を信頼した上で市民の思いとして受け止め、水源地確保に向けて誠実に対応したものであり、臨時会の招集は適切だったと考えている。

しているか。

**答** 指導の範囲で改善を要求し、相手側の改善が見られないにもかかわらず法的拘束力のある行政処分を行わなかったことから、本事業は第一にレッグの責任であることは当然だが、行政の対応が十分でなかったこともその一因であると結論付けている。このことについて、環境大臣が同意した事実はあるか。

同実施計画は、平成23年5月に灰濁水の流出を確保するための対応策を検討するとともに、廃棄物工学や法律、財務等の専門家で構成される松山市廃棄物処理施設審議会の答申を受け策定したものであり、その内容については環境大臣の同意を得たものである。

## レッグ問題に係る行政の対応について

**問** レッグ問題に係る特定支障除去等事業実施計画では、対象事業に対し立ち入り調査や文書指導といった行政

と考える。さらなる医療費助成の充実には県による支援が必要不可欠と考えるが、今後の子ども医療費助成の拡大について、所見を伺う。

今年9月18日の県議会本会議で中村知事から、乳幼児医療費助成の本市への補助率引き上げを検討したいとの答弁があった。今後は県の考え方を伺い、確保できる財源規模を精査した上で、入院費助成の対象を中学3年生まで拡大することも視野に入れ、対象の拡大範囲と実施時期について早急に検討を行いたいと考えている。

今年9月18日の県議会本会議で中村知事から、乳幼児医療費助成の本市への補助率引き上げを検討したいとの答弁があった。今後は県の考え方を伺い、確保できる財源規模を精査した上で、入院費助成の対象を中学3年生まで拡大することも視野に入れ、対象の拡大範囲と実施時期について早急に検討を行いたいと考えている。

## 子ども医療費助成の拡大について

**問** 子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもを産み育てやすい環境を整えるため、平成27年4月から児童の入院に伴う医療費助成の対象範囲を小学6年生まで拡大したことは十分に評価した



今年9月18日の県議会本会議で中村知事から、乳幼児医療費助成の本市への補助率引き上げを検討したいとの答弁があった。今後は県の考え方を伺い、確保できる財源規模を精査した上で、入院費助成の対象を中学3年生まで拡大することも視野に入れ、対象の拡大範囲と実施時期について早急に検討を行いたいと考えている。



丹生谷 利和 議員  
(公明党議員団)

## 集中豪雨による土砂災害の危険性の認識について

**問** 今年8月、集中豪雨による土砂災害の被害に遭われた広島市では、多くの方が自分の住んでいる地域が危険箇所であると知らずに犠牲となったことから、住民が危険性の認識を持つことが重要だと考える。そこで、本市における危険箇所数、住民への徹底した周知方法及び今後の取り組みについて伺う。



今年8月、集中豪雨による土砂災害の被害に遭われた広島市では、多くの方が自分の住んでいる地域が危険箇所であると知らずに犠牲となったことから、住民が危険性の認識を持つことが重要だと考える。そこで、本市における危険箇所数、住民への徹底した周知方法及び今後の取り組みについて伺う。

本市には、急傾斜地崩壊危険箇所が705カ所、土石流危険渓流が571カ所、地すべり危険箇所が4カ所ある。その周知・啓発として、現地への標識の設置や、「まっやま防災マップ」の全戸配布及び市のホームページ等への掲載などを行っている。今後、ハザードマップの作成・配布について関係部局等と協議し、市民に情報発信するとともに、地域の災害特性に応じた防災訓練に取り組んでいきたい。

本市には、急傾斜地崩壊危険箇所が705カ所、土石流危険渓流が571カ所、地すべり危険箇所が4カ所ある。その周知・啓発として、現地への標識の設置や、「まっやま防災マップ」の全戸配布及び市のホームページ等への掲載などを行っている。今後、ハザードマップの作成・配布について関係部局等と協議し、市民に情報発信するとともに、地域の災害特性に応じた防災訓練に取り組んでいきたい。

本市には、急傾斜地崩壊危険箇所が705カ所、土石流危険渓流が571カ所、地すべり危険箇所が4カ所ある。その周知・啓発として、現地への標識の設置や、「まっやま防災マップ」の全戸配布及び市のホームページ等への掲載などを行っている。今後、ハザードマップの作成・配布について関係部局等と協議し、市民に情報発信するとともに、地域の災害特性に応じた防災訓練に取り組んでいきたい。

## 上下水道の組織統合をすることはどうか

**問** 地方公営企業決算では、上下水道事業に係る決算額が全体に占める割合は55%と大きく、いかに経営効率化を進められるかが課題である。今、全国の自治体では上下

水道事業を統合することで経営の効率化や組織のスリム化等を図る動きが進んでいるが、本市においても上下水道の組織統合をすることはどうか。

本市の下水道事業は、平成20年度に四国で初めて企業会計を導入するなど経営の健全化に取り組んできたが、さらなる経営改善に向け、下水道部と公営企業局で組織する「上下水道事業連絡調整会」で、統合について整理を進めている。今後、より一層の経営改善に努めながら、総合的な検討を進めたいと考えている。

地方公営企業決算では、上下水道事業に係る決算額が全体に占める割合は55%と大きく、いかに経営効率化を進められるかが課題である。今、全国の自治体では上下



猪野 由紀久 議員  
(フォーラム松山)

## 今後のまちづくりをどのように進めるのか

**問** 市長はこの4年間、笑顔あふれるまちづくりを実現するため、民間時代に培ったフットワークの軽さを活かし、駅前めぐり街頭演説やタウンミーティングを行ってきた。多くの市民の声を直接聞き、対話することで得たことを踏まえ、この4年間を検証し、今後どのようなまちづくりを進めようとしているのか伺う。

市長はこの4年間、笑顔あふれるまちづくりを実現するため、民間時代に培ったフットワークの軽さを活かし、駅前めぐり街頭演説やタウンミーティングを行ってきた。多くの市民の声を直接聞き、対話することで得たことを踏まえ、この4年間を検証し、今後どのようなまちづくりを進めようとしているのか伺う。

この4年間、「笑顔」を切り口に7つの柱からなる公約の実現に向けて全力で取り組



## ブランド戦略に効果的な情報発信について

今年、「主婦が幸せに暮らせる街」ランキングで本市が全国5位となるなど、本市のイメージは上昇気流にあり、情報発信次第でさらにそのブランド

「恋人の聖地」ほか、さまざまな分野で本市が選ばれていること、特に「主婦が幸せに暮らせる街」ランキングの結果は、「幸せ実感都市まつやま」のブランドイメージを高める絶好の情報だと考えている。これらの情報を市民に向けて積極的に発信することで、自分の住む街への愛着や誇りにつなげ、街の活力を生み出していくとともに、世代や性別等にに応じた確かな方法で、効果的に全国へ発信していく。

「恋人の聖地」ほか、さまざまな分野で本市が選ばれていること、特に「主婦が幸せに暮らせる街」ランキングの結果は、「幸せ実感都市まつやま」のブランドイメージを高める絶好の情報だと考えている。これらの情報を市民に向けて積極的に発信することで、自分の住む街への愛着や誇りにつなげ、街の活力を生み出していくとともに、世代や性別等にに応じた確かな方法で、効果的に全国へ発信していく。

「恋人の聖地」ほか、さまざまな分野で本市が選ばれていること、特に「主婦が幸せに暮らせる街」ランキングの結果は、「幸せ実感都市まつやま」のブランドイメージを高める絶好の情報だと考えている。これらの情報を市民に向けて積極的に発信することで、自分の住む街への愛着や誇りにつなげ、街の活力を生み出していくとともに、世代や性別等にに応じた確かな方法で、効果的に全国へ発信していく。

# 一般質問



原 俊司 議員  
(自由民主党議員団)

## 本市からの知事要望について

**問** 自民党議員団に対し案内のなかつた知事要望について、全議員体制にすることへの模索を行ったのか。また、要望事項ごとの自民党議員団のスタンスをどう認識しているのか。さらに、この陳情会の理事者側の出席者と会議費の総額及び、陳情会終了後の情報交換会の理事者側の出席者やアルコール提供の有無を問う。

**答** 知事要望は、自民党県連主催の知事との意見交換会に本市だけ案内をいただけなかったことから、本市単独で要望する機会をいただいたものであるため、知事の出席が大前提であり、要望内容に賛同いただくことも重要である。要望内容は「特定建築物耐震改修補助事業の継続」等9項目あるが、このうち「黒瀬ダムからの松山分水」以外の項目については、自民党議員団のスタンスと大きな差異はないと認識している。また、陳情会には市長と要望項目に関係する部長9名ほか関係職員が出席し、会議費は会場借り上げ料のみの11万6424円である。情報交換会は、就業時間外に会費制・アルコール付きの立食形式で実施し、市長ほか特別職5名及び要望項目に関係する部長9名が出席した。

## 長期的水需給計画検証事業について

**問** 水資源対策検討特別委員会において、平成16年の計画内容について検証する必要性があると考えますが、今後の議論と並行して行われる本事業に、議会の意見や検証結果を反映する予定はあるか。



**答** 長期的水需給計画検証事業を進めるに当たり、その検証過程では水資源対策検討特別委員会に適宜、報告し、その中でのさまざまな意見や議論を注視していきたいと考えている。

**その他の質問事項**  
第3の水資源の確保を求める市民の署名



菅 泰晴 議員  
(松山維新の会)

## がけ崩れ対策工事について

**問** 大雨による土砂災害が続いており、がけ崩れ対策は喫緊の課題である。がけ崩れ対策工事の多くは県が中心となっているが、小規模な対策工事は市が行っている。現在、市内で何カ所が土砂災害危険箇所として指定されているのか、また、市が対応することになっている対応箇所の進捗状況及

**答** 現在、市内に存在する1280カ所の危険箇所のうち、がけ崩れ防災対策事業の対象は541カ所で、平成25年度末までに約64%の345カ所で整備が完了している。今後は、土砂災害に対する日ごろの備えについての周知や、土砂災害危険箇所パトロールによる点検を充実するなど、関係部局とともにさらなる防災意識の向上を図っていききたいと考えている。

## 北条地区のポンプ場の更新計画と今後の浸水対策について

**問** 北条地区では老朽した17カ所のポンプ場のうち15カ所の更新工事を終えているが、大雨のたびに浸水被害を心配する状況であり、早急に整備を進める必要がある。残りのポンプ場の更新の見込みはどのようになっているのか。また、北条地区の浸水対策に今後どのように取り組んでいくのか伺う。

**答** 北条第二雨水排水ポンプ場は平成28年度に完成する見込みとなっているが、第一雨水排水ポンプ場は雨水計画を見直した結果、能力の変更が必要になったため現在進めている計画・設計を急ぎ、早期の工事着手を目指している。また、北条地区全体の浸水対策については緊急性の高い地区から、浸水被害の解消・軽減に向け計画的に取り組んでいきたいと考えている。

**その他の質問事項**  
環境モデル都市、生活保護、台北市との友好交流



吉富 健一 議員  
(公明党議員団)

## アートの拠点創設してはどうか

**問** 道後オンセナートの開催により、本市にもアートの新たな風が吹き始めた。皆が文化・芸術を楽しみ、創造するための環境づくりには、アートに携わる人材と活動への支援が大事である。京都芸術センターでの取り組みを参考に、本市でもアートの拠点を創設してはどうかと考えるが、県と連携した

**答** 現在、本市では文化・芸術の振興に努めているところだが、アートの拠点を創設するには、活動の核となる関係団体の機運の高まりや市民の理解が何より大切だと考えている。今後とも、県と連携を図るとともに現在実施している「文化振興に関する市民意識調査」の結果を踏まえながら、他市の先進事例も含め、調査・研究していきたいと考えている。

**その他の質問事項**  
本市南部における道路環境の整備、道後温泉の活性化、地域包括ケアシステムの構築



中村 嘉孝 議員  
(フォーラム松山)

## 戦後70年の平和記念事業について

**問** 来年は戦後から70年の節目である。戦争体験の風化や、新たな戦前を迎えつつあるのではないかと危惧する声を耳にする中、本市では戦後50年のモニュメント設置をはじめ、10年ごとの節目の年に記念事業を実施してきたと聞いているが、戦後70年の節目を迎えるに当たり、本市

**答** 来年の戦後70年という節目には、戦争犠牲者追悼式典のほか、記念講演会の開催、次世代を担う小中学生も参加できるようなイベントや、新たに平和首長会議とも連携した原爆関係資料の展示等といった記念事業の実施を検討している。こうした事業を通じ、戦争の悲惨さや平和の尊さを広く認識していただき、平和意識の普及を図りたいと考えている。

**その他の質問事項**  
より、住民同士の交流や賑わい創出にもつながるため、積極的に進めていくべきと考える。本市における今年度のクールシェアの取り組み及びウォームシェアを含む今後の取り組みについて、所見を伺う。

# 一般質問



白石 勇二 議員  
(自由民主党議員団)

## 〔仮称〕北条公園野球場にナイター設備を設置する計画はないか

**問** 近年、民間グラウンドの相次ぐ閉鎖などにより、野球関係者から練習場所の確保に苦勞する声を多く聞く中、本市で野球場が整備されることは大変喜ばしいことである。しかし、整備される〔仮称〕北条公園野球場の日没時間や球場までの所要時間等を考えた場合、平日に十分活用するためにはナイター設備の設置が必要ではないかと考えるが、所見を伺う。

**答** 練習ができる身近なグラウンドの提供を最優先として整備に着手することとしており、これまでの民間グラウンド同様に日中の利用を想定しているため、ナイター設備の設置は現在計画していないが、段階的に整備できるように、照明設備の設置場所や電源を確保することとしており、完成後の利用状況に応じて設置を検討していく。



## 〔坂の上の雲〕のまがへんごびける久谷地域での取り組みについて

**問** 「坂の上の雲」フィールドミュージアム構想のサブセンターゾーンの一つに位置付けられている久谷地域での、これまでの取り組みを伺う。

**答** た、久谷地域に残る山口霊神は、日本三大狸話の一つ、「松山騒動伊予八百八狸物語」発祥の地であるが、こうした狸に関連した貴重な地域資源を活用したまちづくりを行ってはどうか。

**答** 久谷地域ではこれまで、芝居小屋「大黒座」や旧遍路宿「坂本屋」等への支援のほか、史跡・文化財の保護や啓発、里山の魅力発信、イベントへの人的支援などを行ってきた。また、狸に関連する地域資源を活用したまちづくりについては、すでに地元主体で進められており、こうした取り組みを見守り、地域の実情に合わせて有効な施策を検討していきたいと考えている。



若江 進 議員  
(松山維新の会)

## 「貧困の連鎖」を解消するため

**問** 貧困家庭の子どもが成長した後、自らも経済的に困窮しやすい「貧困の連鎖」が起こっている。「貧困の連鎖」を解消する一つの方法は、貧困家庭の子どもが高等教育を受けられるよう支援制度を拡充し、進学率と就職率を向上させることだと考えるが、生活保護世帯の子どもの大学・専門学校への進学率及び就職率について、本市の現状を伺う。

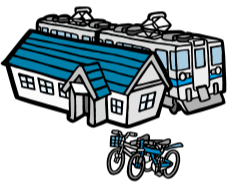
**答** 本市では、進学率を高めることで将来の職業の選択肢を増やすことなどを目的に、平成24年度から低所得世帯の中学生を対象に学習の場を提供する「土曜塾」に取り組んでいる。このような中、26年3月末に高等学校等を卒業した本市の生活保護世帯の子ども94人のうち、34人が大学・専門学校へ進学し進学率は36・2%、36人が就職し就職率は38・3%となっている。

## JR三津浜駅前駐輪場整備について

**問** 地元から長年にわたって強い要望が寄せられてきたJR三津浜駅前駐輪場整備について、駐輪場が整備されれば利便性とともに景観も向上するものと期待される。今回、駐輪場整備に至った経緯及び県

**答** が行う駅周辺整備と合わせた整備計画の概要と完成時期を伺う。

**答** JR三津浜駅における駐輪場の設置について、このたび県が駅前広場の総合的な整備を行うこととなったことに合わせて、駐輪場の用地確保や設置後の維持管理などの協議が調ったため整備を行うものである。本市では県とJR四国から用地の協力を得て、約180台分の駐輪場の設置を行うとともに、駐輪場への屋根及び照明設備の設置といった整備も計画しており、来年春季の供用開始を目指している。



**問** 今年度の市議会議員の選挙期間中、多くの有権者の方から問われたのは、「行政責任についてどう考えるか」ということである。公共事業への投資で失敗や不始末があったときに「業者に責任がある」と逃げたしまつと、行政の意義が失われるのではないかと考えるが、本市が持つ「行政責任」の



**問** 市民の皆様や各事業所の展・発達、人口減少社会の到来などにより、本市に必要な水量は減ってきているのではないかと考える。もしそうであるならば、不必要な水のために建設事業費が400億円を超える黒瀬ダムからの分水事業へ多額

**答** 本市における「行政責任」とは、松山市第6次総合計画に掲げる将来都市像「一人が笑い顔広がる幸せ実感都市まつやま」の実現に向けて、限られた財源や人員を最大限活用し、さまざまな行政需要や市民ニーズに適切かつ柔軟に対応することであると考えている。

**答** 本市の主な水源は「毎年の税金を投入することとなり、多大な行政責任が生じるのである」と強い危機感を覚える。そこで、本市が黒瀬ダムからの分水事業を見直さない理由を伺う。

**答** 本市の主な水源は「毎年の税金を投入することとなり、多大な行政責任が生じるのである」と強い危機感を覚える。そこで、本市が黒瀬ダムからの分水事業を見直さない理由を伺う。



太田 幸伸 議員  
(公明党議員団)

## 図書館と愛媛国体の連携した取り組みについて

**問** 今、図書館には地域に役立つ魅力ある施設として新たな視点が求められている。他自治体では、地元プロサッカーチームと連携し、スポーツと読書の楽しさへの理解を深めることで地域活性化につながる取り組みもあり、国体への関心が高まる中、本市でも愛媛国体と連携した取り組みをしてはどうかと考えるが、所見を伺う。

**答** 本市図書館と愛媛国体の連携について、館内での開催周知やPRグッズ等の展示に加え、国体の歴史や競技種目を紹介する特設コーナーを設け、国体開催の機運を醸成するとともに、図書館の利用者拡大にもつなげたいと考えている。コーナーの設置時期や内容等については、今後、国体の関係機関と連携を図りながら調整していきたいと考えている。



## 忙しすぎる教員の現状をどう考えるか

**問** 今、学校では、いじめの新たな課題が山積みしており、その対応の中心にいる教員は

**答** 授業や学級づくりのための時間や精神的なゆとりが持てない、非常に厳しい環境に置かれている。こうした教員の現状に対し、本市ではどのような認識を持っているか。

**答** 昨年度における本市教員の1週間の平均勤務時間は、小学校が53・2時間、中学校が54・8時間である。平成24年度に本市が独自に実施した教員へのアンケート結果では、時間外勤務での仕事内容は教材研究や授業の準備等であり、時間をかけて熱心に取り組んでいる実態がうかがえるものの、心身の健康管理上、また、職務効率の面などからも、長時間勤務の継続は好ましい状況ではないと認識している。

（その他の質問事項） レッグ問題、児童クラブ、社会保障と世代間格差、市政

# 一般質問



白石 研策 議員  
(自由民主党議員団)

## 市長答弁について

**問** 市長答弁において、本会議場では再質問や再々質問の際には市長が答えていた姿を思い出す、最近担当職員が答えて終わっている。この状態は、タウンミーティングの会場でも同じであり、市長不在のタウンミーティングと言われても仕方ないことだと思いが、所見を問う。

各理事者が答弁しているものであり、これら職員の答弁内容は市長が答弁したのと同じ効果がある。タウンミーティングについても、質問内容に応じて担当職員が説明するなど適切かつ責任ある対応に努めているところである。今後とも分かりやすく、誠意ある明確な答弁や説明を行うよう努めていく。



## 職員教育について

**問** 本市職員が不祥事を起こした際に、本会議場での質問に対し市長が「職員自身の責任感・モラルの低下が大きな原因の一つ」と答弁したことは、市長として無責任な発言ではないかと考えるが、否定

する考えはないか、慎重な答弁を求める。  
**答** 市長として、また市行政の全体責任者として、職員が起こした不祥事に対する責任を負うことは当然のことと思いつつ職員とともに信頼回復に向けた取り組みをしている最中に、一部職員が公務員としての自覚、使命感や責任感を忘れ、さらに一人の人間としての常識を逸脱して起こした事件を客観的に見た場合、個人のモラルの欠如によるものと判断せざるを得ないことから答弁したものであり、改めて否定する考えはない。今後とも職員には、高い使命感や責任感、またモラルを持って職務に取り組むよう強く求めていく。

**問** 本会議場での質問は項目が多く、その内容も多岐にわたることから、質問の内容容などに応じ事務分掌に則し

**その他の質問事項**  
議会制民主主義、本市の水需給量



梶原 時義 議員  
(ネットワーク市民の窓)

## 競争入札による電気代節約を

**問** 電力の自由化により、契約電力が一定以上の規模であれば新電力会社の利用が可能である。昨年と今年、中学校29校で使用する電気の入札に新電力会社を参入させたこ

とで、今までより10%以上も電気代が安くなった。そこで電気代を大幅に節約し、市民の税金の無駄遣いをな

くすために、市施設の電気購入は来年度からすべて一般競争入札にしていくべきではないか。  
**答** 新電力のシェアは、平成24年度では全国の電気需要の2.2%に過ぎない状況の中、本市では、25年6月に市内の中学校29校で使用する電気の入札を実施し、初めて四国電力以外の電気事業者と契約した。現在、その実績をもとに四国電力及び新電力の電気料金の特性を検証しており、今後は検証結果をもとに、新電力の利用拡大の可能性について検討したいと考えている。

## 選挙控え、市長はタウンミーティングへの出席を控えてはどうか

**問** 市長改選の半年前もしくは再選立候補表明後は、市民とのやりとりにおいて

政治活動と選挙事前運動との解釈が微妙になることが予想される。公職選挙法の関係から、タウンミーティングへの出席を慎むべきと思われる。市民との対話という名目は聞こえがよいが、実質は市民の税金を使った脱法選挙運動ではないかと疑われることのないように、選挙半年前からは、部長以下の職員で対応するべきではないか。

**答** タウンミーティングは、市長が「現地現場を大切に」と「市民目線で判断する」という基本姿勢のもと、市長が市民の声を直接お聞きするということでこれまで開催しており、部長以下の職員だけで実施することは適切でないと考えている。

**その他の質問事項**  
公職選挙法、組織体制、電力購入



渡部 昭 議員  
(民主連合)

## ICT(情報通信技術)による減災対策

**問** 突発的な自然災害に対して、これからはICTの活用が広く普及すると思われる。本市においても「松山市防災情報システム」や「緊急速報メール」など、ICTを活用した防災システムに取り組んでいるが、これらのデータに、災害発生箇所と土砂災害危険箇所とのかわり・雨量とのかわり・土壌の種類や土壌指数など災害に関する情報を「地図化し見える化」するシステムにすれば、将来の災害に備えるための情報になると考える。そこで、危険箇所

と過去の災害履歴を一体化するシステムについて見解を問う。  
**答** 今後、順次指定される土砂災害警戒区域や特別警戒区域のハザードマップ作成時に、過去の災害履歴情報をもとに付加し、どのように見える化して情報発信するかなどを関係部局などとも協議し、市民に危険箇所を認識していただけるよう検討していきたいと考えている。



## 松山フェニックスへの組織的な後援を

**問** 市民チームのモデルは、原爆による壊滅的被害からの復興を目指し、日本で唯一の市

民球団として設立した広島カープだと思つ。市民が積極的に応援する広島カープに松山フェニックスを少しでも近づけるために、組織的な後援が必要と考えるが、本市の所見を問う。  
**答** 組織的な後援のさらなる充実を図るためには、市民球団としての市民の理解が深まり、本市全体で支援していくという機運の高まりや、球団自らの取り組みに加え、行政からの支援も必要であると考えている。今後とも、あらゆる機会を通じて広く松山フェニックスを啓発するとともに、さらなる支援のあり方などについて球団関係者の方々と協議していきたいと考えている。

**その他の質問事項**  
産業廃棄物行政にかかわる事件と鹿沼市職員殺人事件



杉村 千栄 議員  
(日本共産党議員団)

## 本市独自に子ども医療費助成を拡充するべきでは

**問** 財源が不足する年度に活用するための財政調整基金は標準財政規模の10%が適正とされているが、本市では18%を超えており、同基金への積み立てを一部縮小するなど、本市独自の努力で子ども医療費の助成拡充は可能である

と考える。すべての子どもが健康やかに育つ権利を保障するため、国の制度化を待たず本市独自に医療費助成を拡充するべきと思うが、その考えはないか。  
**答** 同基金は災害や税収減など不測の支出増加等に対応するために必要な積み立てであり、今後の財政需要を考慮すると適正な水準であると考えている。今後は、県の考えを伺い、確保できる財源規模を精査した上で、入院費助成の対象を中学3年生まで拡大することも視野に入れ、対象範囲の拡大等を検討したいと考えている。

## 民間委託された給食調理場の現状について

**問** 新玉調理場の業務従事者報告書を見ると、多いとき

の報告を受け、パート従業員の異動状況を改善するためにどのような対策をしたのか。また、事業者選定において、従業員の労働条件や定着率も評価対象とするべきではないか。  
**答** 人事管理については、受託事業者の責任で関係法令を遵守して実施すべきと認識しており、本市では、従業員の労働条件や定着率ではなく、衛生管理や安全な学校給食を確実に提供できる業務実施体制の構築が重要と考えている。そのため改善策は考えておらず、今後

も従来どおりの評価対象で選定したいと考えている。

**その他の質問事項**  
災害対策







# 委員会審査

## 《総務理財委員会》

合併建設計画に関し、今後の方針、対象事業の見直し、同計画に基づき実施した事業数、合併特別債の発行額、北条スポーツセンター解体に伴うアスベスト対策及び解体後に整備する施設の概要等について、それぞれ質疑応答がなされました。また、水資源対策検討特別委員会における「長期的水需給計画検証事業」の歳出予算減額修正案に係る歳入予算について再審査を行い、減額修正の可否について議論がなされました。

## 《文教消防委員会》

化学消防自動車の配備状況、消防車両等の更新基準、中学校校舎耐震化にあわせたトイレの洋式化

## 《市民福祉委員会》

コアセンター及び総合案内業務の民間委託に関し、過去3期における委託先の決定方法、委託実態、契約期間を3年間とする理由、「高齢者の肺炎球菌感染症予防接種事業」に関し、他市での自己負担額、水痘及び肺炎球菌ワクチンの副反応、肺炎球菌感染症予防接種の周知方法、保育士の処遇改善等について、それぞれ質疑応答がなされました。

## 《環境下水委員会》

「下水排水路等整備事業」に関し、計画から工事着工までにかかる期間、緊急度が高いと判断される基準、内水はらんが危惧される地域への対策、工事着手の優先順位等について、それぞれ質疑応答がなされました。

## 《都市企業委員会》

中心市街地での放置自転車の状況、夜間の駐輪対策及び駐輪場の案内、自転車の適正利用に向けた条例等の制定、空き店舗や道路を活用した駐輪場の整備、駐輪禁止区域の拡大、自転車放置禁止区域における駐輪可能台数、駐輪場の利用率、「みんなど育む美しい街並みと賑わい創出事業」における整備イメージ及び戦略等について、それぞれ質疑応答がなされました。

## 《産業経済委員会》

キウイフルーツかいよう病Psa3系統の発生状況及び防止策と

## 請願の議決結果



- 第1号 伊方原発の再稼働を認めないよう国に求める意見書を決議することを求めることについて (継続審査)
- 第2号 「大飯原発での運転差止判決」をふまえ、伊方原発を再稼働させず廃炉に向けることを求めることについて (継続審査)
- 第4号 手話言語法(仮称)の早期制定を求める意見書の提出を求めることについて (継続審査)
- 第5号 子どもの医療費助成制度拡充を求めることについて (継続審査)
- 第6号 集团的自衛権の行使容認の閣議決定の撤回と憲法第9条をまもり、活かすことを求めることについて (不採択)
- 第7号 日本軍「慰安婦」問題について、政府に対し「河野談話」を堅持し誠実に実行し、早期解決を求める意見書の提出を求めることについて (継続審査)

## 陳情

- 第4号 軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情について
- 第5号 地球社会建設決議に関する陳情書について



## 選任等を された方々

### 《9月定例会》

- 愛媛県後期高齢者医療広域連合議員 西 泉 彰 雄
- 教育委員会委員 牛 山 眞 貴 子
- 公平委員会委員 安 藤 潔
- 固定資産評価審査委員会委員 西 阿 石 森 田 部 川 脇 和 和 眞 孝 直 將



## 議案第110号及び111号に対する代表質疑

平成26年10月3日本会議にて、追加提出議案第110号及び111号、東雲小学校改築及び(仮称)松山市教育センター新築に係る工事請負契約の締結議案に対する代表質疑が行われました。その主な内容は次のとおりです。

### 大龍泰彦議員(フォーラム松山)

東雲小学校改築(仮称)松山市教育センター新築事業の内容について伺う。

答 築60年が経過し、耐震基準を満たしていない小学校校舎の耐震化を主目的とし、東雲学校と併設させ小中連携を促進すること、また、教育センターを設置し、教育研究・教職員研修を一体的に進め、質の高い教育の実現を図ること、さらには浸水対策や児童・生徒の安全に配慮した歩道付きの市道整備といった周辺の生活環境の改善など、さまざまな目的を持って進める事業となっている。

### 《その他の質問事項》

入札業務、近隣住民や保護者との連携・コンセンサス

### 角田敏郎議員(自由民主党議員団)

3回目の入札に至るまで、常に設定金額の聴取調査にかかわった業者が1者のみで落ちたことは、競争原理が働いた適切な入札とはいえないのではないか。

答 今回の入札は一般競争入札として公告し広く入札参加者を募ったものであり、入札参加者は他の参加者がいることを想定した上で、競争する意思を持って工事内容、工期、金額、人員の確保、採算性等の検討を行い参加したものと考えており、競争性は担保されていると考えている。

### 《その他の質問事項》

入札不調の理由、入札不調後の聞き取り調査及び調査を踏まえた予定価格の設定

### 武井多佳子議員(ネットワーク市民の窓)

予定価格に対し99.84%という高い落札率になった要因をどのように分析しているのか。

答 近年、資材価格や人件費が高騰する中、2度の入札中止を受け、人件費及び製品価格を見直して積算し、より実勢価格を考慮した予定価格とした結果、落札率が高くなったものと考えている。

### 《その他の質問事項》

入札不調後の聞き取り調査、建設費の工事単価、本市における1者入札の推移、2013年度の入札不調の状況

## 《水資源対策検討特別委員会》

「長期的水需給計画検証事業」に関し、業務委託の必要性、節水型機器への補助等の節水施策、西条分水実現の可能性の有無、事業名称、経済への影響及び未給水地域の方々の意見の検証等について、それぞれ質疑応答がなされました。



## 平成26年度～平成27年度の閉会中調査研究テーマが決定しました。

松山市議会では、松山市が抱える諸課題の中から、所管に係る懸案事項などテーマを設定し、常任委員会の任期(2年)の間で調査研究をしています。

常任委員会名	テーマ
総務理財委員会	スポーツコンベンションを通じたスポーツ振興について
文教消防委員会	学校給食について
市民福祉委員会	社会的弱者が住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりについて
環境下水委員会	環境モデル都市まつやまの推進について
都市企業委員会	水道事業における震災対策の取り組みについて
産業経済委員会	第一次産業における多様な担い手の参入と育成について

## 平成26年12月定例会の開催日程(予定)

平成26年12月定例会の開催日程は、現在未定です。決まり次第、議会ホームページに掲載いたします。